

## 1 統一協会と政治とのかかわりの危険性について

代表質問でも、統一協会と政治とのかかわりについて質問させていただきました。理解していただきたいのは、統一協会は単なる宗教団体ではないこと、悪徳商法をはじめ反社会的な活動を繰り返してきた非常に危険なカルト詐欺団体でありこれは司法も確認していること、そして、この間のことを空白の30年間と言われますが、そうではなく、名を変え、姿を変え、カルト的な布教活動は変わらないままで、被害者をうみながら活動を続けていたことです。

それが皮肉にも安倍元総理の死で表ざたになったのです。

政治家とのかかわりを通して、政治にも介入していることが大問題であり、岡山市として、一刻も早くカルト団体と関係を持たないことを明言し、被害者拡大につながらないようにしていただきたいとの思いで、引き続き質問させていただきます。

ア 先日のわが党の代表質問で統一協会に対しての認識を聞きましたが、市は「宗教法人の所轄庁は都道府県知事又は文部科学大臣とされており、お答えする立場にありません」との残念な答弁を繰り返しました。ピースロードの後援を下す時はわからなかったとのことですが、市として統一協会への認識をはっきり持っておかなければ、また後援をしてしまう可能性もあります。今後関連団体の動向をどのように把握し、どういう認識で判断をしようとお考えなのか、ご所見をお聞かせください。

イ 名を変え、姿を変え、このカルト集団は市民の中に入ってきています。全国靈感商法対策弁護士連絡会の調べでは、関連団体としてたくさん会社や団体の名前が挙がっています。そしてピースロードのようなイベントだけでなく、ごみ拾いなどのボランティア、福祉事業などいろいろ行政に関わっているとも言われています。この間、市の行事や協賛団体として、ほかの名前や団体での参加がなかったのか、この際しっかり精査していただきたいがどうか。

ウ 代表質問では「遡っての後援の取り消しも寄付も返さない」との答弁でしたが、この問題を軽視しているとしか思えません。分かった後でも何もしないということは、統一協会に対して市がお墨付きを与えることになりかねません。いかに文鮮明という人物が反社会的活動をしてきたか、またこの団体がカルト的な活動をしてきたかが世間で問題になっているのです。この事実を認識しても、市は後援を撤回しないということなのでしょうか。

エ 市民はその事実を知って、関わっていた行政や政治家にきちんとしてほしいと大変注目しています。また今後きっぱり関係を断ってほしいという声が大きくなっています。実際市民の指摘にたいして、奈良市や、長野県松本市などは、市の要綱で判断し、政治活動または宗教活動等と認められないものであるし市民にも理解が得られないだろうとさかのぼって後援の取り消しを行っています。寄付金も

返すべきだという行動に出ている自治体もあります。これが今の現状を真摯に受け止めた対応なのではないかと私は思います。もう一度市として考え直し、後援を取りけし、寄付金を返すべきです。わが党代表質問には寄付金も返さないと答弁されていますが、団体として集めたお金で被害額ではないと確認がとれているのでしょうか。

オ 岸田首相は自民党議員と統一協会の関連の調査をして 379 人の自民党国会議員のうち179人が何らかの関係があるとの結果を発表しました。あくまで自己申告なのでもっともっているのではないかととも言われています。その中には行事にメッセージを送っただけなどの人もいるとのこと。しかしメッセージや祝電も軽視してはならないと思います。ほとんどの元信者は、政治家からの祝電やメッセージで「大物政治家が支持してくださっているならお父様(文鮮明)の教えは間違いなく正しいんだと確信をもった」「人類救済の道は近いと思った」と証言しています。市長にお尋ねします。市長はピースロードの行事に行きスピーチをされています。当時はどういうおつもりでスピーチをされたのか、そして問題が発覚した後は気持ちの変化があるのか、お聞かせください。

カ 統一協会の機関紙「世界家庭」の 2017 年 3 月号で、関連団体の全国祝福家庭総連合会の宋(ソン)龍天(ヨンチョン)総会長が活動方針の一つに「議員教育の推進」を位置づけて発表しています。国会議員を通して自らの掲げる政策を実現する意向を示しており、日本での活動について「各地での地域集会、家庭集会などに地方議員を連結させる」と政治家とのパイプ作りの重要性を強調しています。また全国靈感商法対策弁護士連絡会の調べでは統一協会の「2020 プラン」で全国に家庭教育条例をつくるのが位置づけられ、研修までも開いてそこに参加した自民党議員を中心に家庭教育応援条例がつくられているということがわかっています。岡山県内ではその研修に家庭教育応援条例策定の中心になった福島恭子県議をはじめ数人の県議が参加しており、家庭に教育の第一義的な責任を負わせるという統一協会の主張そのものの中身で条例を策定しシンポジウムまで行うとのこと。ここまでカルト詐欺的集団に侵された議員の誘導で政策が動いているんです。こういう意図的な動きについて、市長、教育長のそれぞれの所見をおきかせください。

## 2 性暴力のない岡山市政をめざして

### (1) 包括的性教育と文科省の「生命(いのち)の安全教育」について

2017年の刑法性犯罪規定改正後、その再改正に向けて運動団体等の動きが活発になりました。そして、より良い法改正と性暴力の根絶を求める当事者や支援団体、フラワーデモなどの取り組みと世論の高まりが、省庁横断の「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」を作らせました。政府が被害者の声を聴きつつ、性暴力や性犯罪対策に各省庁横断で一丸となってとりくむこと自体が初めてで、大きな一歩となりました。

その「強化の方針」の一環として文科省の「生命(いのち)の安全教育」がスタートします。

世界的には国連で提唱された「包括的性教育」がスタンダードになり、広がっています。

インターネットが普及している昨今、特に子どもや若者にゆがんだ性の情報が過剰にさらされています。子どもや若者が人生において責任ある選択をするための知識やスキルを学ぶことが重要です。

包括的性教育は国連の教育科学文化機関の「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」にそって行われます。ガイダンスでは8つのコンセプトがあり、4つの年齢グループごとに繰り返し学習する内容です。

8つのキーコンセプトは、①人間関係、②価値観、人権、文化・セクシュアリティ、③ジェンダーの理解、④暴力と安全の確保、⑤健康と幸福のためのスキル、⑥人間のからだの発達、⑦セクシュアリティと性的行動、⑧性と生殖に関する健康で、それぞれの年齢グループごとに、キーアイデアと知識、態度、スキルを基盤とした学習目標で構成されています。

そして日本の「生命(いのち)の安全教育」は、ガイダンスの④暴力と安全確保に関連しています。しかし中心は、性犯罪・性暴力対策で、①生命の尊さやすばらしさ、②自分を尊重し大事にすること(被害者にならない)、③相手を尊重し大事にすること(加害者にならない)、④一人一人が大事な存在であること(傍観者にならない)とのメッセージを強力に発信することが重要としています。

包括的性教育と「生命(いのち)の安全教育」を比較すると、日本の教育に足りないのは、性交、妊娠、避妊の性科学に基づいた知識と、ジェンダー、人権、多様性という包括的な考えに基づいた視点です。

岡山市でもさんかく岡山の協働事業として、産婦人科医や専門家など有志が中心となり「包括的セクシュアリティ教育研究会」がたちあげられ、性教育に包括的性教育の視点の必要性を発信しています。

そこで伺います

- ア 教育委員会は、この「生命(いのち)の安全教育」を来年度からどう取り組もうとしていますか、
- イ 現在、学校における性に関する指導はどのように行われているのか、それぞれの学校にヒヤリングしていただき、現状を把握していただきたいが、いかがか。
- ウ さんかく岡山や「包括的セクシュアリティ教育研究会」など協力・連携が必要で  
す。どう具体化しますか。
- エ 子どもの発達、成長のためにも人権を大切にしている包括的性教育を学校教育の中  
にいちづけないと、「生命(いのち)の安全教育」だけでは性暴力への恐怖などネガティブな  
イメージが、子どもたちに残るのではないかと危惧します。所見をお聞かせください。
- オ 文科省は「生命(いのち)の安全教育」の教材として、パワーポイントのスライドを基本  
地域に応じて加除や改変も可能としています。市として国連の「国際セクシュアリティ  
教育ガイダンス」を参考に加筆しませんか。
- カ 実際に「生命(いのち)の安全教育」を指導するのは現場の教員たちです。聞いて  
いる子どもたちの中に性の悩みを抱えている児童生徒がいるかもしれない、被害に  
実際に会っている子どももいるかもしれない、SOS を出したときに速やかに支援に  
つなぐことが必要になるかもしれません。現場の教職員の研修をまずしませんか。
- キ それらも踏まえて「性に関する教育の手引き」を作り直しませんか。

(2)「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」の施行にあつて

今年4月に同法が施行されました。岡山市でも教職員による性暴力等の犯罪が政令市移行後、数件発生しています。

- ア この法律の施行に伴い岡山市はどうとりますか
- イ 教職員等による事件が起きた場合や日頃の啓発のために、千葉市では第三者を含めた事件対応の判断などや性暴力被害に遭わない日頃の啓発も含めての役割で審議会を常設しています、岡山市にも必要なのではないか。

(3)若年者支援等について

10代から20代の若者が身体や性の悩みを気軽に話せたり、学んだり、相談できるスペースとして専門家が対応する「3丁目ユースクリニック」がさんかく岡山に開設され、若者支援として期待されています。さんかく岡山の市民協働事業として行われています。

- ア 今後本事業化して予算もつけていただきたいが、いかがか。
- イ 学校での周知をしませんか。